



令和3年度 地域おこし協力隊活動報告

風の帰る森 プロジェクト

自己紹介

上月 有紀（こうづき ゆうき）

京都府出身

金融や教育業界で営業職を経験

2016年 久米島旅行で風の帰る森プロジェクトを知り、移住計画

2018年 地域おこし協力隊として大阪から久米島へ移住

男の子2児の母

趣味は身体に優しいおやつやパン作り（食べるより作る派）



活動報告

- 風の帰る森プロジェクトについて
- プロジェクトストーリー
- プロジェクトテーマ
- 今年度のミッション
- 今年度の地域連携活動報告
- 活動の振り返り

風の帰る森 プロジェクト

風の帰る森プロジェクトは2015年2月、東日本大震災にあった子ども達や心や身体にケアを必要とする子ども達が、自然の中で時間を忘れてゆったりと過ごすことができる場所を作ることを目的に発足しました。

発起人（堀野富洋氏）が計画を発案し、それに賛同した友人である著名なアニメーション監督が、資金を支援してくださる形で拠点となる建物が銭田森林公園内に完成している。

この建物を中心に「里山・里海づくり」に繋がる活動も行う壮大なプロジェクトです。

プロジェクトストーリー

2015

始動

島民有志の活動開始

里山里海再生

人を育む

異文化交流

を掲げ島民でプロジェクトを創ることを目指す。
有志メンバーが協議を重ね、施設機能や活動の方向性を模索する

2019

プレオープン

開館準備

プレイベント実施

銭田森林公園内の森の中に
ひっそり佇む赤い屋根の建
物が完成。

プレイベントとして医療的
ケアが必要な子どもたちと
の島内外交流

「久米島キッズケアラボ」
を開催

2020

開館

2020年春

「風の帰る森交流施設」

として開館

島宿・風の帰る森

風森カフェ

風森学童クラブ

風森文庫（図書室利用）

を有する複合施設として

開館

2022

現在..

人が集う場所へ

コロナ禍真っ只中での開館
により昨年度は利用制限が
あったが、2年目は予約不
要等での開館/運営実施。
建物周辺の公園内整備も進
み、より利用しやすい交流
施設として進化中..

プロジェクトテーマ



異文化交流

保養と交流
新しい風を吹き込む
独特な良いものを作り出す



里山・里海再生

森をまもり川をまもり海をまもる
自然循環の中で生活/経済をつくる
地域自然の見直しと活用
再生可能なエネルギーと持続可能な開発



人を育む

自然の中で人間らしく生きる
感性を磨く
本から学ぶ
歴史と文化を学ぶ

令和3年度のミッション

- ・ 地域連携
- ・ 島内外の子ども交流促進
- ・ プロジェクト概要冊子作成について
- ・ その他

コロナ禍で先の見えない世情を鑑み、

今年度は **地域連携**

に焦点をあてた活動を展開した



地域連携 活動

人を育む

- ・ 絵本読み聞かせ会 定期開催
- ・ 認知症カフェと連携した「移動風森文庫」
の開催

里山里海再生活動

- ・ 赤土流出対策講座 開催
- ・ 「田畑づくりから始まる100年先の森づくり」
ワークショップ開催

人を育む

風森文庫 絵本の読み聞かせ会

島内の保育園・幼稚園・小学校を中心に読み聞かせ活動を行なっている「絵本読み聞かせサークル ふうきのくる」と連携して毎月第3日曜日に「風森文庫絵本読み聞かせ会」を開催。

毎回異なるサークルメンバーが読み聞かせを行うことで、地域の方が読み手として多数参加。また定期開催することで読み聞かせの開催と施設利用について認知度UPに繋がった。

広く開放的で常時換気可能な図書室空間のため、密回避での開催が実現。小さな子連れ親子の参加者には大変好評だった。



森の中にあるみんなの図書室

風森文庫 絵本 読み聞かせ会



日時 11月21日（日）14:00~14:30頃まで
定員 20名程度
予約不要・参加費無料

毎月恒例の読み聞かせ会！
今月はどんな絵本と出会うのでしょうか？
ふうきのくるさんによるほっこり絵本タイムを一緒に♪





人を育む

移動・風森文庫 の開催

集落支援員が行う独居老人の見守り活動の一つである「青空カフェ（認知症カフェ）」の実施と連携し、「移動・風森文庫」を開催。

風森文庫を館外に持ち出し、交通弱者の高齢者や多世代に向けたプロジェクト認知度UPを目指し活動。定期開催を目指していたが、高齢者向けの活動により慎重に情勢を見ながら開催。夏以降、毎月1～3回程度での実施となった。

ハーブや植物テーマの風森文庫を片手に、島の自然や植物などの話題になることが多く、多世代かつ地域交流の場になっていた。

里山里海再生

風の帰る森プロジェクトが考える 「里山里海再生」について

- ・ 森をまもり川をまもり海をまもる
- ・ 自然循環の中で生活・経済をつくる
- ・ 地域自然の見直しと活用
- ・ 再生可能なエネルギーと持続可能な開発

を基軸としています。

島の自然と人との良い関係とは何か？

を考え具体的なアクションを起こすための活動として

今年度は「赤土に関する講座」「休耕地の再生」に関する2点について展開。



赤土流出対策に関する講座の開催

(一社)久米島の海を守ると連携し、『NPO法人沖縄グリーンネットワーク』理事長の西原隆氏を講師として招き「赤土と私たちの暮らし」を開催。

沖縄グリーンネットワークは沖縄本島で、赤土等流出防止のための活動を行っており、グリーンベルトの植栽や、普及啓蒙活動などを行っている団体です。

久米島の美しい海を守るために知っておくこと
赤土と私たちの暮らし

について赤土模型を使いながら分かりやすく解説頂きました。

- ・主催：(一社)久米島の海を守る会
- ・後援：(一社)帰風舎(風の帰る森プロジェクト)



田畑づくりから始まる100年先の森づくり ワークショップの実施

施設周辺の休耕地を再生したい

島の自然と人との良い関係について考えるきっかけを作りたい

島の農業や持続可能な環境とは何か

「今」を生きる私たちが行動することで100年先も残したい風景を守りたい

このような想いを元に島の子どもたちと一緒に休耕地の再生として

畑作りをスタートしました。

地域の農家さんを講師として招き、全7回のワークショップを企画・運営・実施。

銭田地域の歴史や島の成り立ちを学ぶことから始め、土作り、作物の植え付け、

収穫、収穫野菜の加工までを参加者と共に作り上げました。

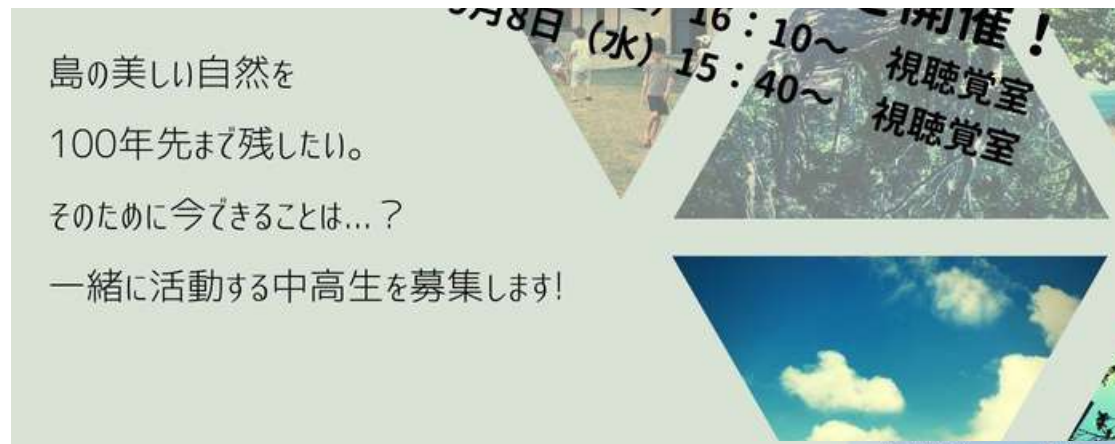
最終回は島の若手農家さんと「島の自然と農業」をテーマにトークセッションを

開催。ワークショップは屋外での畑作業を中心に運営しました。

毎回子どもから大人まで「島の自然について考える」場づくりとして楽しい雰囲気

もあり、参加者同士のつながりも生まれました。

- ・主催：（一社）帰風舎
- ・共催：久米島町役場
- ・後援：久米島町教育委員会、公益財団法人沖縄県地域振興協会



田畑づくりから始まる 100年先の森づくり 参加者募集

風の帰る森交流施設をフィールドとした森（里山）づくりプログラムがスタートします。
美しい手つかずの自然が残る島の「森」って何だろう。
島の農業や持続可能な環境について考えたい。



森づくりの第一歩 第一歩目は畑づくりからスタート！

休耕地となっている土地をフィールドにして自然と向き合い、農作物を生み出すことの大変さ、収穫できる喜びを共同作業を通じて体感しませんか？人と自然、生き物が共生できる久米島の環境とは何か？生きている森と死んでいる森とは？森を再生し豊かな自然を守るのが海の環境改善にも貢献するアセスを学びます。

教えて！地域の農家さん 久米島で伝わる昔からの農法や知恵

地域で活躍する農家さんと久米島博物館の協力を得て久米島の土壌を知り、畑を開墾します。久米島で行われてきた農法や農業に関する知恵は、実は持続可能な農業の最先端？！天然資源の有効活用や土地の生物多様性に貢献する知恵が盛り沢山。農家さんと一緒に実践しながら、作物を育てましょう。

無事に収穫できたら.. 収穫した作物を加工（調理）して販売

大切に育てた農作物が収穫できたら収穫した農作物を加工して販売します。収穫できた喜びを分かち合い、多くの人に食して楽しんでもらう機会を創ります。収益は畑維持管理や森づくりのための資金に充て、森づくりは次のステップへと進みます。

森バス 出発進行！ 森バスに乗って現地集合

ワークショップ参加対象者の希望者にあじま-館/ほんのもり/仲里庁舎まで風の帰る森交流施設まで送迎バスを運行します。

ワークショップ開催日/内容

日時	テーマ	内容
1回目 9/26（日） 10：30～12：00	久米島を知る	島の成り立ちや歴史、銭田集落のことを学びこれから始まる森づくりの第一歩をスタートします
2回目 10/3（日） 10：30～12：30	土を知る 耕す	久米島は地域によって土壌の性質が違います。それぞれの特徴を知った上で土を耕し作物を植え付けるための環境を整えます
3回目 10/17（日） 10：30～12：30	作物の植え付け	作物の種蒔き・植え付けを行います。島で活躍する農家さんから作物それぞれの植え付け方や育てるポイントを学びます
4回目 11/14（日） 10：30～12：30	受け継ぐ農法 作物と観察と植え付け	前回植え付けた作物の生育状況の観察や、作物が育ちやすいように環境整備を地域の農家さんと一緒にを行います
5回目 12/12（日） 10：30～12：30	受け継ぐ農法 作物と観察と植え付け	前回植え付けた作物の生育状況の観察や、作物が育ちやすいように環境整備を地域の農家さんと一緒にを行います
6回目 1/16（日） 10：30～12：30	AGRICULTURE in KUMEJIMA	久米島で活躍する若手農家さんより島で農業する面白さや、大変さ、将来の島での農業についてお話していただきます
7回目 2/13（日） 10：30～12：30	収穫祭 （活動発表）	収穫した農作物を調理（加工）してみんなで味わいましょう！

- 参加対象者**
- 全7回のワークショップに参加可能な元気な久米島島内在住のみなさん（推奨：小学生中学年以上）
*都合等参加できない回がある場合、事前にご相談ください
- 参加費**
- 無料
- 応募方法**
- 必ず説明会に参加してください。下記必要事項を漏れなく記入し風森公式LINEにメッセージ、またはメールにて受付します。
- 氏名・学校名・学年・連絡可能なメールアドレス・電話番号（本人と保護者両方）・住んでいる字名
森バス乗車希望の有無・参加への意気込み/質問などあれば
- その他**
- ・中学生参加者は保護者同意が必須です
 - ・荒天時は翌週に振り替え予定です
 - ・森バスは定員があり希望されても乗車できない場合があります
 - ・農作物の生育状況により内容を変更する場合があります



▲ワークショップの様子



▲ワークショップの様子



▲ワークショップの様子



▲ワークショップの様子



▲ワークショップの様子



▲ワークショップの様子



▲ワークショップの様子







活動の振り返り

2018年2月より着任、産休・育休を経て実質4年間久米島町の地域おこし協力隊として活動しました。関わる関係各所の方々には無事に任期終了できたことについて、この場をお借りして感謝申し上げます。

本プロジェクトは島内外の支援者、有志メンバー、他様々な関係機関が関わっており、着任当時は関わる人・モノ・ことの交通整理にとっても苦労したことを覚えています。

活動拠点となる施設開館に向けた運営サポート、施設運営をしている帰風舎法人と連携を取りながら常に試行錯誤しながらプロジェクトを進めていきました。協力隊としてできることを常に模索しながら「地域連携」はとても大きな課題でもありました。まずは「知ってもらう」きっかけ作りを仕組み化すること、情報発信、何より活動継続により地域との信頼関係構築に繋がることを実感しました。

行政連携も常に課題を抱えている状況でしたが、プロジェクトの方向性や活動について常にブラッシュアップしたり共有の場を細かに設けることが鍵だと考えます。久米島町がスタートしたプロジェクトとして、今後町がどのような「思い」を描いて本プロジェクトを進めるのか期待「し続けたい」と思います。

